

TEL 082-263-8443

FAX 082-264-9254

E-mail higashi@shakyohiroshima-city.or.jp

広島市東区社会福祉協議会

〒732-8510 広島市東区東蟹屋町 9-34 東区総合福祉センター 4 階

詳しくはホームページをご覧ください
<https://shakyohiroshima.jp/higashi/>

広島市東区社会福祉協議会

検索



Instagram



障がい理解の啓発月間講演会を開催しました!!



気さくに語る後藤選手（左）と相川准教授（右）



パス体験会：真つすぐ蹴るのは予想以上に難しいです



休憩中も写真撮影やお話に快く応じてくださいました

2024年12月20日（金）、熊野町出身のパリ2024パラリンピック競技大会ブラインドフットボール男子日本代表 後藤 将起 選手をお招きして講演会を開催しました。

前半は広島文化学園大学の相川准教授に「アダプテッド・スポーツ※、ブラインドサッカー®について」の講義、後半は後藤選手に「ある日突然光を失ってから パラリンピック選手になるまでの軌跡」を講演いただきました。

後藤選手の明るく前向きな発言と、休憩中も質問や写真撮影に応じる気さくな雰囲気、参加者はすっかり心を掴まれ、笑い感動の講演会であつたという間に終了しました。講演後も写真撮影する人、お話をする人、質問をする人が絶えませんでした。

『できないことは多いけれど、何もできないわけではない。』『家族に作った料理の中でプリンが一番好評だった。』『利用者の少ない横断歩道は音や気配の情報が少なく、青信号なのか赤信号なのかわかりづらい。』など視覚障がい者としての生の声をたくさん聞かせていただきました。

そして最後に、『視覚障がい者として、自分は声を掛けて欲しい!でも全員ではないので、そこはコミュニケーションしながら判断してほしい。』とお願いされました。それを受けて、多くの方が「今後コミュニケーションを取ろうと思う」「これからは、声を掛けてみようと思う」とアンケートに回答しておられました。

東区社協では今後も地域共生社会の実現に向けて、障がいに関する理解の啓発及び障がい者の社会参加の促進に努めます。



東区社協では、障がいについて考える機会となるよう、毎年12月にボランティアサロンで『障がい理解の啓発のための展示コーナー』を設けています。今年度は『アダプテッド・スポーツ』をテーマに実施しました。

※アダプテッド・スポーツとは、障がいの有無や年齢等に関係なく、参加者全員が楽しく運動できるようにルールや道具を工夫して行うスポーツです。

この広報紙は（一財）多山報恩会の助成金及び赤い羽根共同募金の配分金により作成しました。

ちやいちゃいまつり大盛況!



2024年11月23日(土)、今年度もちやいちゃいまつりを開催しました。約300名が来場され、各団体のステージ発表、ボランティアグループによる福祉体験、飲食コーナーでの食事、物品販売コーナーでのショッピングなどを楽しみました。コロナ禍での中断期間を経て、飲食コーナーは昨年から復活。今年はステージ発表が6年ぶりに復活し、会場を2フロアに広げて大いに盛り上がりました! 「たくさんの地域の人出演もあって良かった」、(出演者側から)「発表の場が戻ってうれしい」との感想が寄せられました。



6年ぶりに復活!!

ステージ



ステージプログラム一番手は和太鼓



ソーラン節で会場は熱気に包まれました



フルートの音に癒されて...



透き通った歌声にうっとり



本格的な腹話術



「YMCA～」と、観客席と一体になりました



飲食・あそびコーナーなど



たくさんの手作り製品や食べ物が並びました



フランクフルトのいい匂い



ボランティアの学生さんが大活躍♪



遊びのコーナーは、スーパーボールすくいと輪投げ



ミット打ち体験

福祉体験コーナー



車いす体験



音訳に挑戦



「手話と一緒にやってみましょう!」



白杖を使って



マンツーマンで点字を教わる



相談対応のコツを学び、スキルアップ!

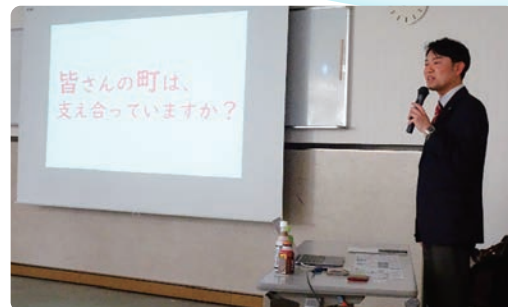


2024年12月25日(水)に令和6年度東区地区社協活動拠点活性化支援事業拠点スタッフ研修会 兼 東区住民主体型生活支援訪問サービスボランティアコーディネーター研修会を開催しました!

今回は、坂町地域包括支援センターの 木下 健一 センター長を講師にお招きし、『相談対応における対人コミュニケーションのコツ!』と題し、住民からの相談を受け付ける役割を担う方々が、相談対応の際に心がけるべき姿勢や活用できるテクニックを教わりました。

「この人に相談したい!」と思われるような人はどんな人なのか考え、表情やしぐさ、姿勢や話し方だけでなく、面談の際の座る位置や相談者の目線の置き場を作ってあげる配慮など、すぐに実践できるコツをたくさん学ぶことができました。

参加者の方々からは、「日頃の活動を振り返り、基本を再認識させてもらった」「自分が行っている他の活動にも役立つ内容だった」など大変好評でした。これからも、地域活動者の皆さんのスキルアップにつながるような研修を実施していきたいと思います!



「爽やかで講義もわかりやすい!」と大好評だった木下氏



参加者へのささやかなクリスマスプレゼントもご用意しました♪



ペアになり、「相談する側」「相談を受ける側」の演習も行いました。

広島市生活支援体制整備事業

「地域づくり」と「助け合い活動」を“応援”するために平成29年度から広島市全区に生活支援コーディネーターが配置され、活動しています。

連載
企画

生活支援コーディネーターの想い

生活支援コーディネーターの役割
「つなげる(企業等との連携)」

エピソード14 『東区サロンフェスタ!!』

東区社協では毎年、地域高齢者サロン交流会を開催しています。開催後のアンケートで多かった「無料出前講座の情報が知りたい」という声に応じて、今年度は無料出前講座を実施している企業等を招いて、初の試み『東区サロンフェスタ!!』を開催しました。

はじめに、東区で無料出前講座を実施している企業等15団体が各自3分間で講座の内容を紹介。その後各ブースに分かれて詳細を説明していただきました。東区でサロン活動をされている参加者は、気になるブースに直接行って、話を聞いたり、質問したり、ブースによっては試乗や試飲もありました。

チラシではわからない情報を聞いたり、「こんな話はしてもらえますか?」「何分で講座はできますか?」など質問し、ご自身のサロンでの活用を検討されながらブース巡りされている様子が見られました。

企業の方からは「実際にサロンの方とお話する機会があまりなかったのが良かった」「講座依頼が入った」、サロン活動をしている方からは「沢山の情報を得られた」「サロンに持ち帰って情報共有したい」という声をいただき、大盛況のうちに終えることができました。

今回のイベントは、地域貢献されている企業等と、地域で活動しているサロンを「つなげる」取組のひとつになったと思います。



どのブースも行列ができるほど大盛況でした



試乗体験もあり、皆さん積極的に試乗されていました



ブースの外でも相談会が実施されていました

賛助会員を募集しています!

東区社会福祉協議会では、皆さまからいただいた会費を財源に、地区社協活動への助成や障害児者等の当事者間交流支援といった、誰もが住みよい東区の実現に向けた、地域の取り組みを支援しています。地域の福祉活動を継続するための安定した財源確保に向け、引き続き賛助会員を募集しておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年度の賛助会費総額 412,000円

(1月31日現在)

個人会員	団体会員	団体会員(病院・企業など)
一口 1,000 円	一口 3,000 円	一口 10,000 円

※何口でもご加入いただけます。

郵便振替口座 01380-6-77585
社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

賛助会員ご入会ありがとうございます。

個人 〈戸坂城山学区〉 匿名1名
〈戸坂学区〉 倉藤 紀之 村田 耕治 川瀬 節子
〈矢賀学区〉 岡内 恢
〈その他〉 山下 廣 円奈 勝治

団体 (法人等) 広島市要約筆記登録者の会
匿名1団体

令和6年10月1日～令和7年1月31日現在(敬称略)

寄付は地域を支える 第一歩

皆様からの温かいご支援が福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。

生前、母が地域のみなさんになつたので。



このようなときに

地域のお祭りに出店した収益金を寄付したい。



いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

主な
寄付金の
使途

- 地区社協活動の助成
- ボランティア講座の開催
- 障がい児者等の当事者間交流支援 等



お寄せいただいた善意は
地域福祉のため、

一般寄付

【団体】ダイセー日研株式会社 様

有効活用させていただきます。(令和6年10月1日～令和7年1月31日現在)

赤い羽根 共同募金のお礼

今年度も「じぶんの町をよくするしくみ」を全国統一スローガンに実施しました赤い羽根共同募金では、地域の皆さまにご協力をいただきありがとうございました。

皆さまからお寄せいただきました募金は、地域福祉活動や高齢者・障がい者・子育て支援等に役立てられます。

また、大規模な災害が起こった際に災害ボランティア活動の支援など、被災地を応援するためにも使われています。

令和6年度 共同募金実績額(東区)

6,325,394円 (令和7年1月31日現在)



令和6年度に表彰を受けられた方々

例年、長きにわたり福祉活動に功績のあった方々が表彰を受けられており、今年度も東区から以下の方々が受賞されています。受賞された皆さま、おめでとうございます。



全国社会福祉協議会会長表彰
馬木地区社会福祉協議会 様



広島県社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉協議会団体関係功労者)
川瀬 節子 様 (戸坂学区社協)
(社会福祉事業協助者〔個人〕)
尾崎 尚美 様 (中山地区社協)



広島市長表彰
(社会福祉事業奉仕団体)
上温品地区社会福祉協議会 様
東浄学区社会福祉協議会 様
戸坂城山学区社会福祉協議会 様
牛田新町地区社会福祉協議会 様
牛田学区社会福祉協議会 様
早稲田学区社会福祉協議会 様

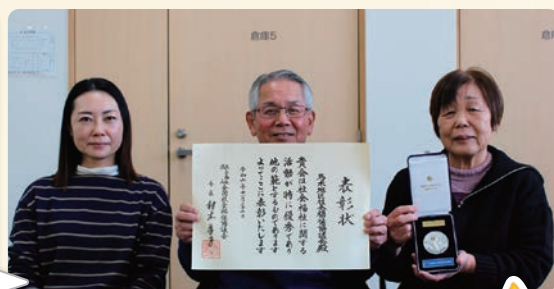


広島市社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉協議会関係功労者)
谷口 博 様 (牛田学区社協)
佐々木 健 様 (牛田学区社協)
織田 秀美 様 (戸坂城山学区社協)

我々がやってきた活動に対し、良くやっていると評価されたと真摯に受け止め、今後自信を持って活動していきたいと思えます。馬木では「安心・安全で住みやすいまちづくり」に取り組んでおり、住民の皆さんが住みやすい、住んで良かったと思えるまちづくりを行っていきます。



広島県共同募金会会長表彰
(共同募金運動優良地区)
牛田本町六丁目一町内会 様
牛田旭二丁目東町内会 様



全国社会福祉協議会会長表彰
馬木地区社会福祉協議会 様

